

広陵中学校図書室だより

広陵中学校図書室
令和5年2月号



今でこそお正月のイベントになっている箱根駅伝ですが、第1回は1920年の2月14日でした。

駅伝えきせいでんというのは日本独特の競技で、名前の由来は何と奈良時代の「駅制」えきせい。当時の幹線道路におかれ

ていた駅馬えきば、伝馬でんまをヒントにつけられたそうです。

今月のイチオシ

チーム

どうば しゅんいち
堂場 瞬一 著



箱根駅伝を描いたスポーツ小説。ただし、中心となるのは箱根駅伝の出場を逃がした大学の中から、予選で好タイムを出した選手が選ばれる混成こんせいチーム「学連選抜」がくれんせんぱつです。

普段はライバルですが、この時だけはチームメンバーとして、ともに襷たすきを繋つなぐ選手たち。かれらの葛藤と激走に感動します。

今月の俳句

おもしろ
面白し 雪にやならん 冬の雨 松尾芭蕉

〔意味〕 冬の雨が降っている。だんだん寒さも加わって、この分では雪になるかもしれない。

おもしろいことだ。

〔季語〕 冬の雨（冬）

みぞれまじりの雨が雪に変わって欲しいと願っています。まるで子供のように心を弾ませている芭蕉が目

に浮かびますね。



読んでみない？ 陸上部を通しての青春小説を紹介します。

一瞬の風になれ 佐藤 多佳子 著



兄への劣等感からサッカーをあきらめた主人公が、陸上の才能のある親友の誘いで、陸上部へ入部し、「どこまでも速くなること」を目指して練習の日々を過ごします

はたしてデビュー戦のリレーの結果は？
爽やかな青春小説です。

あと少し、もう少し 瀬尾 まいこ 著



陸上部の名物顧問が転勤になり、代わりにやってきたのは頼りない美術教師。部長の榎井は、中学最後の駅伝大会に向けてメンバーを募り練習を始めるが…。

寄せ集めの6人が県大会出場を目指して、襷たすきを繋つなぐ、傑作青春小説です。

風が強く吹いている 三浦 しをん 著



「箱根駅伝を走りたい！」10人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ることにも夢中で突き進む。

ゴールを目指して襷たすきを繋つなぐことで、仲間と繋がっていく…。

走れ！「速く」ではなく「強く」一疾走青春小説です。